科目名	精神看護方法Ⅰ (対象の理解) Psychiatric Nursing Ⅰ	担当教員 (研究室番号)	長南　幸恵（401） 荒木　学　（409）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目・広域看護学	選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ	否

科目目的		精神疾患・精神障がいを抱えながら生きる人々やその家族の体験を理解し、回復を促すために必要な看護について述べることができる。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	E　地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）
	関連するDP	B　人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） C　多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）
到達目標		1.精神疾患のある人の症状や治療を含めた疾患特性について述べることができる。 2.精神疾患のある人の回復過程と生活上の困難について述べることができる。 3.精神疾患のある人とその家族の回復を促す看護について述べることができる。
成績評価方法(基準)		筆記試験50%、課題35%、学修態度15%
再試験の有無と基準等		再試験：有（科目不合格者のうち、期末試験を受験した者にのみ再試験を実施） 再試験は総合的に評価し、合格点に満たない筆記試験あるいは課題とする。
教科書		ナーシンググラフィカ　精神看護学①情緒発達と精神看護の基本, メディカ出版, 2022. ナーシンググラフィカ　精神看護学②精神障害と看護の実践, メディカ出版, 2022.
参考書等		授業時に随時紹介
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待		精神疾患のある人の心理社会的な困難を理解し、回復過程を支える看護方法を学びます。精神看護学実習で受け持つ事の多い精神疾患を中心に学習します。臨床病態学Ⅵ（精神）も復習しておいて下さい。
備考		精神看護学概論を習得していないと履修できません。 本科目は精神看護学方法Ⅱの先修条件です。

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
1回	オリエンテーション 対象を理解するための考え方	オリエンテーション（授業予定、評価方法の説明） 精神機能とその障害を学ぶ。	長南	講義
2回	気分障害の理解と看護①	うつ病の回復過程と看護について学ぶ。	長南	講義
3回	気分障害の理解と看護②	双極性障害の回復過程と看護について学ぶ。	長南	講義
4回	統合失調症と関連疾患の理解と看護①	統合失調症（急性期）の回復過程と看護について学ぶ。	荒木	講義
5回	統合失調症と関連疾患の理解と看護②	統合失調症（慢性期）の回復過程と看護について学ぶ。	荒木	講義
6回	神経性障害の理解と看護	神経性障害(不安症、強迫症）の回復過程と看護について学ぶ。	長南	講義
7回	依存症および摂食障害の理解と看護	依存症および摂食障害の回復過程と看護について学ぶ。	長南	講義
8回	神経発達症の理解と看護	神経発達障害の特性と支援について学ぶ。	長南	講義

学　習　課　題
課題（事前）：教科書関連部分を読んでおく。

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義を行う。